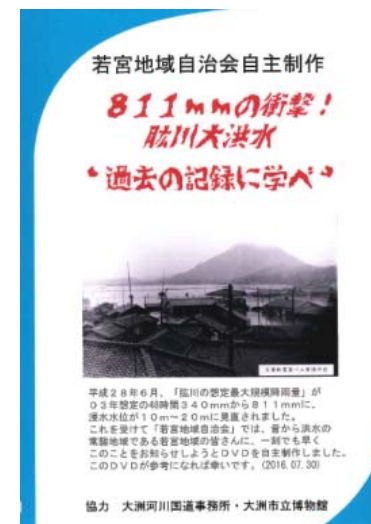


若宮地域自主防災組織の取組状況

- 若宮地域自主防災組織では、新に住まわれた人や世代交代などにより意識が薄れていることを懸念し、独自にDVDを作成。大洲河川国道事務所もDVD作成に協力。
- 若宮地域自主防災組織主催でDVDの上映と住民説明会(意見交換会)を開催。大洲市と国土交通省は、説明会に参加し質問に対する回答や助言を実施。

日 時 : 平成28年7月27日 19:00~20:30
場 所 : 大洲市肱北公民館 若宮分館 2階大ホール
主 催 者 : 若宮地域自主防災組織 (若宮地域自治会)
参 加 者 : 若宮地域自主防災組織、若宮地域住民 (約80名)、
大洲市、大洲河川国道事務所



意見交換会での意見等

- ・想定最大規模の降雨であれば、避難先はどうすればよいのか。
- ・ハード面での整備も大事だが、避難方法や避難行動を大洲市や国土交通省で考えて欲しい。
- ・近県でこのような降雨があるということは、大洲でも起きる可能性はある。たまたま最近災害がない、地震もない。九州等他の地域は甚大な被害であるため、安心してはいけない。

国・市からの回答等

- ・今回の想定は、水防法の改定で公表することとなった。肱川においても国(気象台含む)・県・大洲市と減災対策協議会を設立して協議している。
- ・当該地区では、10m以上浸水するため高いところへの避難になるが、道路や土砂災害の情報も必要であり、今後避難計画の立案が必要となる。
- ・想定最大だけでなく計画規模、近年の大出水や通常の出水にも気をつけて欲しい。防災に関して、国、県、市で情報を出しているため活用して欲しい。



自主防災組織自ら過去の証言をいれながらDVDを作成



DVD上映・意見交換会の様子